

第52回
北九州市地域公共交通会議

資 料

令和8年6月30日
北九州市都市戦略局
都市交通政策課

協議事項

■八幡南地区における AI オンデマンド交通実証事業の実施方針について

【本件の審議範囲および今後の進め方】

1. 審議の対象

本会議においては、八幡南地区における AI オンデマンド交通実証事業の実施に向けた、基本的な方向性を審議するものである。

2. 地域住民との合意形成を通じた計画策定

実証運行のエリアや停留所の設置場所については、日常の移動実態に即した計画とするため、地域住民の代表者を始めとする皆様や交通事業者等との協議を段階的に実施し、地域の意向を反映した上で、実効性のある事業計画を策定する。

3. 委員意見の取り扱い

書面協議書における意見については、事務局にて内容を精査し、地域や交通事業者等との協議や計画策定の際の参考として活用させていただく予定である。

1 会議開催の目的

本会議は、交通空白解消等「北九州モデル」推進会議が主体となり実施を予定している AI オンデマンド交通実証事業について、おでかけ交通の八幡南地区における実証事業の必要性および実施方針について協議いただくことを目的とする。なお、本会議は AI オンデマンド交通の具体的な運行計画について協議又は議決を行うものではない。

交通空白解消等「北九州モデル」推進会議とは

持続可能な交通体系を実現するために、北九州市と交通事業者が連携し、
運転手確保のほか、新たな移動サービスの実証等に取り組む協議体

2 事業の背景

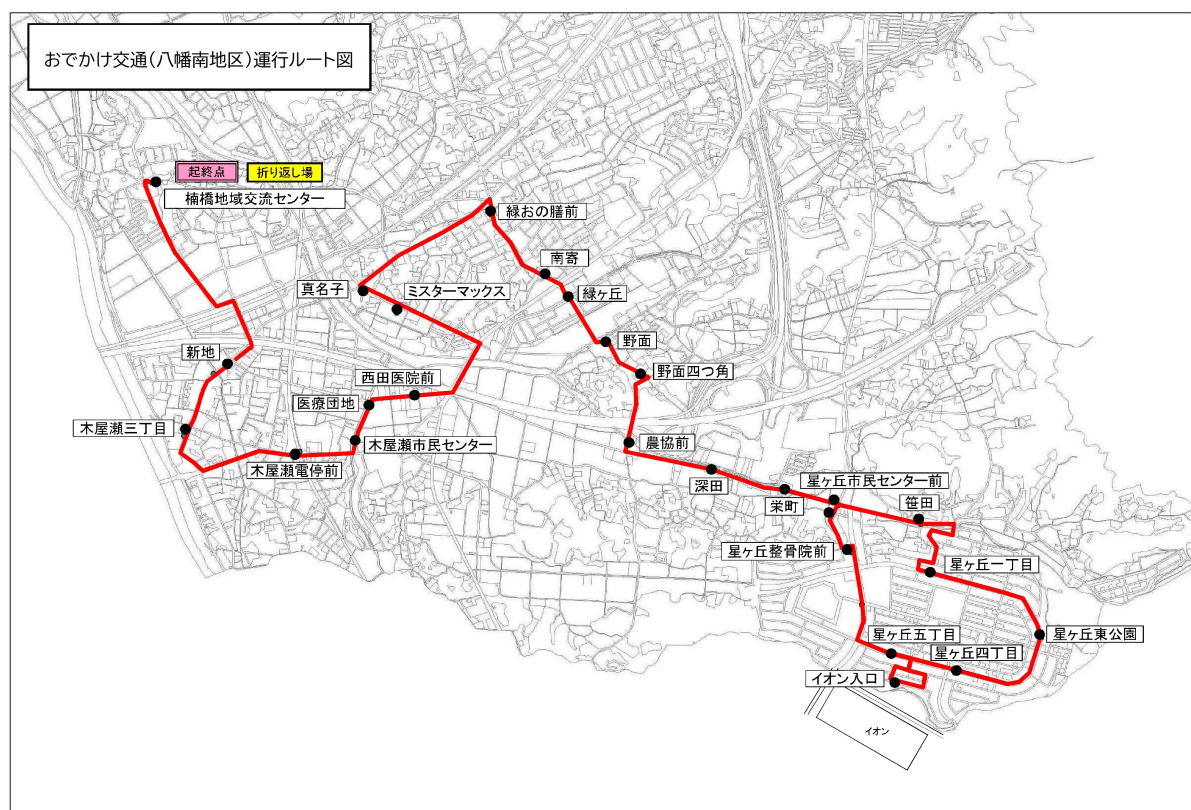
北九州市では地域住民の生活交通の確保に向け、地域住民・交通事業者と連携し「おでかけ交通」に取り組んできた。その中で、八幡南地区における利用実績を分析した結果、利用者が特定の便や停留所に集中する傾向が見られる一方、利用の少ない便や停留所も存在し、利用需要に一定の偏りが確認された。

このことから、現行の定時定路線型の運行では需要の変化に柔軟に対応することが困難である可能性があるうえ、本地域は駅・商業施設・公共施設などの拠点が点在しており、多様化するニーズに対応するため、新たな運行形態として AI オンデマンド交通の有効性を検証するとともに、今後の地域交通施策への活用及び市域への展開可能性を検証するものである。

3 対象地区の概要(現行)

◆おでかけ交通(八幡南地区)

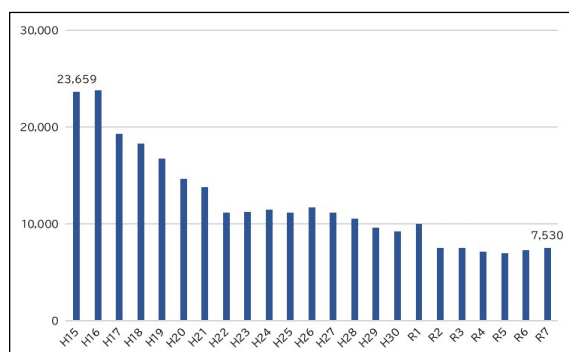
項目	内容
運行主体	第一観光バス株式会社
運営主体	八幡南地区おでかけ交通運営委員会
運行車両	9人乗りジャンボタクシー(1台)
運行開始	平成 15 年 4 月 1 日
運行方式	定時定路線
運行時間	7時台～17時台(土曜、日曜、祝日運休)
運行便数	9便
運行経路	図表1「おでかけ交通運行区域図」のとおり
運賃	200円均一(小学生以上)
沿線人口	約 16,000 人(令和 7 年 3 月末現在)
沿線高齢化率	26.1%(令和 7 年 3 月末現在)



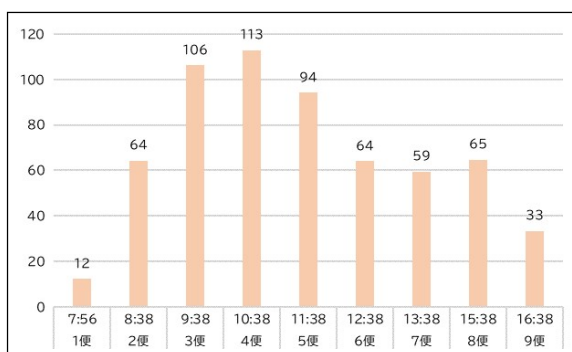
4 現在の利用状況 及び 想定課題

◆利用状況

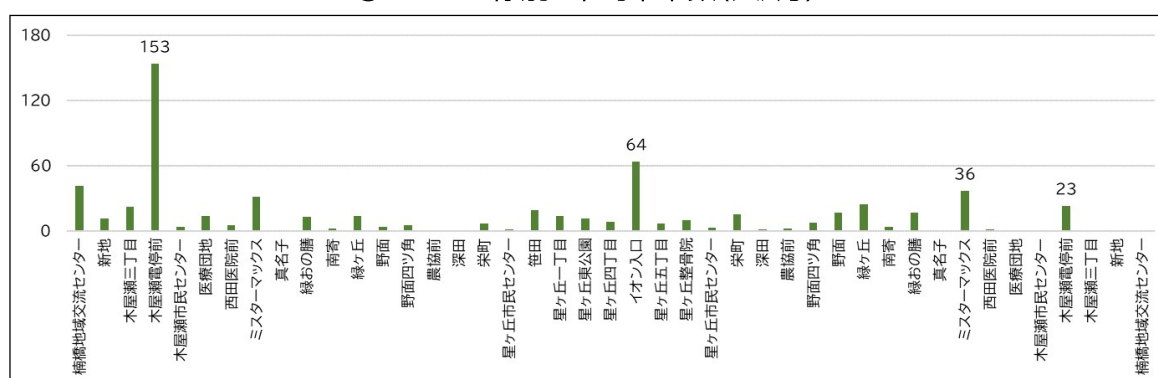
①年間利用者数の推移



②R6運行便別 平均利用者数(人/月)



③R6 バス停別 平均乗車数(人/月)



◆想定課題

【現状分析】

利用実績を分析した結果、利用者は特定の便及び停留所に集中していることが確認された。一方で、利用の少ない便や停留所も存在しており、利用需要には一定の偏りが見られる。現行の定時定路線型の運行では、利用状況に応じた運行内容の見直しが容易ではなく、需要に対して効率的なサービス提供となっていない可能性がある。

【仮説】

利用需要に応じて運行する AI オンデマンド交通を導入することで、利用者ニーズへの対応及び運行効率の向上が期待できるのではないかと。

5 AI オンデマンド交通の概要

◆AI オンデマンド交通とは

利用者からの予約に応じて運行し、複数利用者の予約状況を踏まえ、AI を活用して効率的な配車・運行を行う乗合型交通サービスである。

定時定路線型の交通と比較して、需要に応じた柔軟な運行が可能となる一方、利用状況や地域特性によって実施効果が異なるため、実証運行を通じて有効性を検証するものである。

◆AI オンデマンド交通の特徴

- ・事前予約(電話・スマートフォンアプリ)による運行
- ・予約状況に応じて配車及び運行経路を調整
- ・他利用者との乗合
- ・需要に応じた柔軟な運行が可能

6 実証事業の概要(予定)

◆実証内容(案)

実証時期 ： 令和8年12月から

実証エリア ： おでかけ交通(八幡南地区)を含むエリア【図1】のとおり

エリア選定理由 ：

八幡南地区は既存のおでかけ交通が運行されており、利用実績データの蓄積があるため、新たな運行形態との比較検証が可能である。

また、住宅地と生活利便施設が広範囲に立地し、利用者毎に移動先や移動時間帯が異なる多様な需要が見込まれることから、需要に応じて柔軟に運行する AI オンデマンド交通の適性を検証する地区として選定した。

実証運行区域 ：

【図1】に示すとおり、AI オンデマンド交通の実証運行エリアは、現在のおでかけ交通(八幡南地区)の定路線運行区域を包含する範囲で設定予定である。

これにより、既存利用者の移動機会を確保するとともに、定路線では対応しにくい多様な移動需要への対応可能性を検証する。なお、具体的な運行区域及び停留所配置については、今後詳細検討を行う。

【図1】AI オンデマンド交通実証運行区域図(予定)

AI オンデマンド交通
運行予定区域(約12km²)

北九州市 八幡西区

現在のほかけ交通(八幡南)
運行ルート

◆実証により検証する内容(予定)

- ・利用者利便性の向上効果
- ・利用需要の変化
- ・運行効率の改善効果
- ・費用対効果
- ・地域交通の持続可能性
- ・市域への展開可能性

※詳細な運行条件については、システム事業者選定後に検討する。

◆实施主体

交通空白解消等「北九州モデル」推進会議

7 実施体制

実施主体である交通空白解消等「北九州モデル」推進会議には、北九州市のほか、バス事業者、タクシー事業者及び関係団体が参画している。

本実証事業については、推進会議において事業の方向性を共有するとともに、八幡南地区おでかけ交通運営委員会及び地域住民代表等との協議を行いながら検討を進めるもの。

8 現在の検討状況

現在、公募によるシステム事業者の選定を進めている。

また、本実証事業については、八幡南地区おでかけ交通運営委員会等と事前に意見交換を行いながら検討を進めている。

実証運行の詳細な運行条件については、システム事業者の提案内容、地域の実情及び本会議における意見等を踏まえながら今後検討する予定である。

9 想定スケジュール

時期	内容
令和 8 年 6 月	地域公共交通会議(本会議)
令和 8 年 7 月末	システム事業者選定
令和 8 年 8 月～	地域住民等との協議・計画策定
令和 8 年 10 月	道路運送法第 21 条に係る手続
令和 8 年 12 月	実証運行開始

10 委員の皆様からご意見をいただきたい事項

【協議事項】

■八幡南地区における AI オンデマンド交通実証事業の実施方針について

※実証運行エリアの考え方については参考資料として示しているものであり、具体的な運行区域、停留所、運賃、運行時間等は今後地域との協議を踏まえ検討する予定であるため、本協議の対象外とする。

【参考意見】

- ① 実証に期待する効果
- ② 実証に当たり配慮すべき事項
- ③ 実証期間中に把握・検証すべき事項
- ④ その他地域公共交通の維持・確保に関する意見

11 既存路線の取扱いについて

本実証事業は、現行路線の代替可能性および有効性を検証することを目的の一つとしている。そのため、実証運行の期間中は、現行の八幡南地区「おでかけ交通」(下図)の運行を休止し、AIオンデマンド交通による運行へ一本化するものとする。

